
「おにいちゃん」と私 ト라우マ～多情恋愛side story

実桜生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「おにいちゃん」と私 ト라우マ〜多情恋愛side story

【Nコード】

N1040D

【作者名】

実桜生

【あらすじ】

「おにいちゃん」と私は、自分達も気づかないところで愛し合っていたのかな。トラウマ〜多情恋愛別章、ショートストーリー。

（前書き）

「トラウマ〜多情恋愛」は、その内容と表現ゆえにノークターンノベルズの方へ投稿させていただきました。そのあらすじの内容の一話読み切りです。

子供相手に一生懸命。

どっちが子供かわからないね。

私より3歳年上の「おにいちゃん」。

子供と遊ぶレクリエーションサークルで出会った。

新しくサークルに入った私の指導担当として関わってくれた。

ただの先輩のはずだったけど。

サークルの帰りに、「おにいちゃん」の家へ寄るうちに「おにいちゃん」の両親やお兄さんとも親しくなった。

そして「おにいちゃん」自身とも。

私には、別に付き合っている彼がいた。

彼と初めてキスした次の日に、どうして「おにいちゃん」ともキスしてしまったんだろう。

誰もいない「おにいちゃん」の家で、急に抱き締められてキスされて。

抵抗は、きっとできないんじゃないかとしなかった。

「おにいちゃん」にも彼女がいたのに。

私にこんなことを言う。

「早くカレに抱かれるよ。」なんて。

だから、私は彼に抱かれた。初めてだった。

でもすぐに別れてしまった。

そしてまた、違う人と付き合いだした。

「おにいちゃん」とのキスを、深い意味にしくなくて。

でも、「おにいちゃん」も彼女と別れてしまった。
それも、彼女は「おにいちゃん」の子供を宿したまま。

私の初体験と別離、「おにいちゃん」の彼女の妊娠と別離。
そんな事実が交錯する中で、私は「おにいちゃん」に抱かれてしまった。

抱かれたんじゃない。ただ、しただけなのかも。
触れられて、感じて、ただ欲しくて。

終わったら、何事もなかったように「おにいちゃん」の家へ寄る。
「お嫁さんにきてくれたら……」。なんて、「おにいちゃん」両親は
言っただけ、そんなつもりはまったくなくて。

そのくせ、「妊娠したら結婚してやる。」なんて言う「おにいちゃん」。

私は、次の彼との付き合いを深めていたけれど、会うたびに抱かれるだけの付き合いにはうんざりしてきていた。

でも、身体は反応するから抱かれていた。

そんな付き合いが続くわけもなく、自然消滅したところ、「おにいちゃん」の元カノから手紙がきた。

「おにいちゃん」との間にできた子が生まれた。

そして彼女は別の人と結婚。

幸せそうだけど、「おにいちゃん」を幸せに出来なかったことを悔やんでた。

私にはまた、新しい彼がいて、楽しく付き合っていたけれど。

20歳のお祝いと言って、「おにいちゃん」と缶ビールで乾杯。

酔っぱらった私を、土砂降りの雨の中で抱き締めた。

元力ノの子供が生まれたことを伝えた私を、何度も何度も抱いた「おにいちゃん」。

同じ抱かれるなら、愛されたいなんて、心の片隅で思いながら。

その一方で、彼との付き合いは続いていく。

指輪もプレゼントしてくれた。

この人だけ、愛さなくちゃ…。

そんな決心は、「おにいちゃん」に新しい彼女ができたことで固まったはずだったのに。

久しぶりのサークルの帰り道、誰もいない「おにいちゃん」の家で無理矢理抱かれるのを拒めない。

家まで送ってもらったところで、キスされたのを彼に目撃され、そのまま連れて行かれた彼の家で、彼の双子の兄弟と交互に抱かれてしまう。

そのまま彼とも別れ、「おにいちゃん」とも会わず、ただ毎日を過ごしていた。

そんなある日。

「おにいちゃん」が、サークルのお金を使い込んでいることを知る。このままにはできない。

「おにいちゃん」のお兄さんに連絡して、追及。

「おにいちゃん」は、お金を返して、サークルを辞めて、これで表面的には丸くおさまった。

私は、誰かと幸せに付き合うなんて出来ずにいたけれど。

就職活動で知り合った先輩に、すべてを打ち明けて受け入れてもらえた。

そんな先輩と付き合って、初めて抱かれて…、妊娠、結婚。

出産して幸せな暮らしの中、突然の知らせ。

「おにいちゃん」のおかあさんが倒れた。
家を出た「おにいちゃん」とは、連絡がつかないまま、息を引き取った。

葬儀が終わるころ、ようやく着いた「おにいちゃん」。

きつと好きだったんだ。

ずっと好きだったんだ。

でも、そばにはいられない。

ごめんなさい。

「おにいちゃん」に抱かれるのは、これが最後だろう。

抱かれた後に、打ち明けた。

結婚したこと。子供もいること。

もうきつと会わない。

さよなら。

私のお腹に宿った二人目の子供は、夫の子か、おにいちゃんの子供かわからないけど。

すべてを許して、受け入れてくれた夫に感謝しながら出産。

愛している。

「おにいちゃん」には届かない、届けない想いだから素直に言える。

愛している。

今そばにいていくれる、あなたに感謝します。

（後書き）

読んでいただいても、あらずじ過ぎて、なんのことやらわからない方もいらっしゃるでしょう。18歳以上の方は是非、ノクターンノベルズの方で、「トラウマ」多情恋愛」を探して読んでくださいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1040d/>

「おにいちゃん」と私 トラウマ～多情恋愛side story

2010年12月25日14時38分発行